

令和4年度外来種対策事業
(昆虫類・クモ類対策)

報 告 書

令和5年3月

沖縄県 環境部 自然保護課

－ 目 次 －

1. 事業概要	1
2. ヒアリ・アカカミアリに関する取組	4
2-1. 主要港湾等におけるヒアリ・アカカミアリのモニタリング	4
2-2. GC-MS（ガスクロマトグラフ質量分析計）によるヒアリ・アカカミアリ検出	22
2-3. 関係者向け同定研修	35
2-4. 沖縄県ヒアリ対策総合マニュアル Ver. 1.0 の改訂	42
3. ハヤトゲフシアリ・アルゼンチンアリに関する取組	46
3-1. 吸引法による外来アリ類のモニタリング	46
3-2. 主要港湾の周辺緑地における調査	60
3-3. 南大東島における外来アリ類の予備調査	62
3-4. ハヤトゲフシアリに関する情報集約	66
4. サイカブト（タイワンカブト）に関する取組	69
4-1. 今年度の取組概要	69
4-2. フェロモン提供による防除活動の継続	69
4-3. 地域住民への普及啓発	75
4-4. その他	76
5. セアカゴケグモに関する取組	77
5-1. 今年度の取組概要	77
5-2. セアカゴケグモの侵入監視（モニタリング調査）	80
5-3. 初期防除	89
5-4. 周知等	90
6. 他の昆虫類・クモ類・植物の緊急防除の検討	91
6-1. 概要	91
6-2. 警戒すべき種類の侵入・定着状況	91
6-3. 昨年度、検討委員会で推薦された重点対策種・重点予防種	91
6-4. ヤエヤママドボタル防除計画	92
7. 作業部会の設置・運営	93
7-1. 令和4年度外来種対策事業（昆虫類・クモ類対策）作業部会の設置	93
7-2. 第1回外来種対策事業（昆虫類・クモ類対策）作業部会の開催	95
7-3. 第2回外来種対策事業（昆虫類・クモ類対策）作業部会の開催	101
8. 今年度の成果概要	106

1. 事業概要

1-1. 事業目的

沖縄県が平成 21 年度に策定・公表した「沖縄 21 世紀ビジョン」では、めざすべき将来像として、「沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にす島」を目標の 1 つとしており、多くの固有種や希少種が生息する生物多様性に富んだ自然環境が守られていることを県民が望む将来の姿としている。しかしながら、県内においては、既に様々な外来種が侵入し、一部定着が確認されている。それらの状況を踏まえ、令和元年度までに、「沖縄県外来種対策指針」（以下「指針」という。）、「沖縄県対策外来種リスト」（以下「外来種リスト」という。）及び「沖縄県外来種対策行動計画」（以下「行動計画」という。）を策定し、本県の外来種対策を推進している。

本業務は、本県の生態系を保全するため、指針や行動計画等に基づき、外来種（昆虫類・クモ類対策）への対策を実施したものである。

1-2. 事業期間

令和 4 年 4 月 26 日～令和 5 年 3 月 24 日

1-3. 実施地域

業務実施地域は、沖縄県内で実施した。

1-4. 発注者

沖縄県 環境部 自然保護課

1-5. 請負者

一般財団法人沖縄県環境科学センター 代表理事 福村 圭介

1-6. 事業内容

本事業の概要を下表に示す。各種の防除計画等に基づき、対策を実施した。

取組項目	取組概要
ヒアリ・アカカミアリに関する取組	
主要港湾等におけるヒアリ等のモニタリング	県内の港湾や空港の周辺を中心として、ヒアリ及びアカカミアリのモニタリング調査。GC-MSによる種判別。初期防除。 ・誘引剤トラップによるヒアリ・アカカミアリの侵入監視 ・10,000地点以上。年1回（秋季調査として10～11月に実施）
関係者向け同定研修会	県内3か所において、関係機関の職員を対象として同定研修会を9月に開催した。
沖縄県ヒアリ対策マニュアルの改訂	令和元年度に作成した沖縄県ヒアリ対策総合マニュアル（Ver. 1.0）の改訂を検討した。
ハヤトゲフシアリ・アルゼンチンアリに関する取組	
主要港湾等におけるハヤトゲフシアリ等のモニタリング	県内の港湾や空港の周辺を中心として、ハヤトゲフシアリ及びアルゼンチンアリ等の外来アリのモニタリング調査。顕微鏡等による種同定。初期防除。 ・アリ類の採集等によるハヤトゲフシアリ等の侵入監視 ・500m区間にアリがいそうな箇所全てで採集（233本）。年1回（秋季調査として10～11月に実施）
主要港湾の周辺緑地における調査	外来アリ類の侵入リスクの高い港湾地区周辺において、単位時間採集法を用いた調査を冬季に行い、外来アリ類の監視を強化した。
南大東島における予備調査	外来アリ類による被害が懸念されている南大東島において、アリ類に関する予備調査を実施した。
ハヤトゲフシアリに関する情報集約	ハヤトゲフシアリに関する情報を収集・整理等。
サイカブト（タイワンカブト）に関する取組	大東諸島において、ビロウ被害木のモニタリング及びフェロモントラップによる捕獲効果の検証、地域住民への普及啓発等
セアカゴケグモに関する取組	県内の港湾や空港の周辺を中心として、セアカゴケグモの侵入監視。初期防除。
他の昆虫類・クモ類の緊急防除等の検討	リストに定める他の昆虫類・クモ類や生態系への影響が大きい昆虫類・クモ類の侵入・定着が確認された場合は、必要に応じて緊急的な防除の検討等。重点対策種として新たに指定が検討されたヤエヤママドボタルの防除計画を作成。
作業部会の開催・運営	学識経験者等で構成する作業部会を2回開催。

令和4年度外来種対策事業（昆虫類・クモ類対策）に係る成果概要

【外来アリ類：ヒアリ、アカカミアリ、ハヤトゲフシアリ等】

ヒアリ・アカカミアリ

- 【主要港湾等における誘引法】
- ・誘引剤を11,419地点に設置し、10,891地点で回収
 - ・現場ではヒアリと疑わしきアリの確認なし



【GC-MSによる検出】

- ・ヒアリの毒性物質の検出なし
- ・アカカミアリ毒性物質の検出なし。判定不可のサンプルは顕微鏡観察し、確認なし

【関係者向け同定研修】

- ・県内3ヶ所で開催
 - ・デジタル顕微鏡の整備
- 【マニュアルの改訂】
- ・環境省のヒアリに対する基本的考え方の改訂や対策内容の改善点を踏まえ、改訂検討

ハヤトゲフシアリ・アルゼンチンアリ

- 【主要港湾等における吸引法】
- ・計233ヶ所、調査距離113.7km
 - ・36種のアリを確認
 - ・特定外来生物の確認なし
 - ・ウスヒメキアリ（対策種）は那覇港で7ルート、中城湾港において3ルートの合計10本のルートで確認



【主要港湾緑地調査】

- ・単位時間採集法による冬季調査
 - ・26種のアリを確認
 - ・特定外来生物の確認なし
- 【南大東島における予備調査】
- ・ツヤオオズアリやアルゼンチンアリの影響を懸念
- 【ハヤトゲフシアリ情報集約】
- ・県内各機関の取組整理

【サイカブト(タイワンカブト)】

南大東島・北大東島

- 【フェロモン提供による継続】
- ・南大東島および北大東島にフェロモン剤の提供による防除活動の継続
 - ・2017～2021年度の捕獲データの整理
 - ・トラップ運用課題の検討



- ・葉の繁茂による侵入障害
- ・ビロウ林の被害（食害）



【セアカゴケグモ】

侵入監視

- 【主要港湾における調査】
- ・県内主要港湾、空港周辺におけるモニタリング
 - ・セアカゴケグモの確認なし（ハイロゴケグモはすべての調査場所を確認）

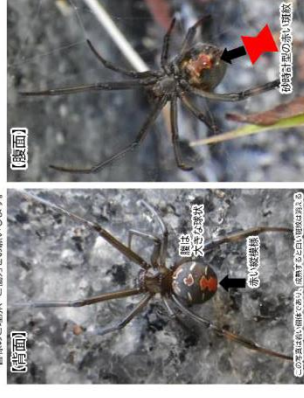
【周知等】

- ・侵入監視用の資料を作成し、調査時に関係事業者等へ配布

侵入警戒中！

セアカゴケグモ

沖縄では、セアカゴケグモを輸入する船舶やバス外乗組として、通商船種に指定された船舶がセアカゴケグモを船内や甲板に持ち込み、定着の恐れがあります。ご協力をお願いします。



連絡先

- 県民者 一般財団法人沖縄環境科学センター 担当：小笠原・末吉
E-mail: info@amimokubankas.or.jp TEL: 098-875-5208
- 県民者 沖縄県 自然保護課 担当：下地・柳澤 TEL: 098-866-2243
- 外来生物法 所轄
- 環境省 沖縄県自然環境事務所 外来生物担当 TEL: 098-836-6400